

(講座) 環境薬科学

(研究室) 薬品分析化学

(氏名) 岸川直哉

(職名) 講師

【研究テーマ】

1. 環境及び生体試料中の環境汚染物質の測定法の開発と汚染評価に関する研究
2. 新規過シュウ酸エステル化学発光系の開発に関する研究
3. キノン化合物の蛍光・化学発光測定法の開発研究

【論文発表】

A 欧文

(A-a) 原著論文

1. A. Miyamoto, K. Nakamura, N. Kishikawa, Y. Ohba, K. Nakashima, N. Kuroda: Quasi-simultaneous determination of antioxidative activities against superoxide anion and nitric oxide by a combination of sequential injection analysis and flow injection analysis with chemiluminescence detection, *Anal. Bioanal. Chem.*, **388**, 1809-1814 (2007). [IF: 2.591]
2. S.F. Hammad, M.M. Mabrouk, A. Habib, H. Elfatary, N. Kishikawa, K. Nakashima, N. Kuroda: Precolumn fluorescence labeling method for simultaneous determination of hydroxyzine and cetirizine in human serum, *Biomed. Chromatogr.*, **21**, 1030-1035 (2007). [IF: 1.611]
3. S. Ahmed, N. Kishikawa, K. Nakashima, N. Kuroda: Determination of vitamin K homologues by high-performance liquid chromatography with on-line photoreactor and peroxyoxalate chemiluminescence detection, *Anal. Chim. Acta*, **591**, 148-154 (2007). [IF: 2.894]
4. M. Wada, H. Kido, K. Ohyama, T. Ichibangase, N. Kishikawa, Y. Ohba, M.N. Nakashima, N. Kuroda, K. Nakashima: Chemiluminescent screening of quenching effects of natural colorants against reactive oxygen species: Evaluation of grape seed, monascus, gardenia and red radish extracts as multi-functional food additives, *Food Chem.*, **101**, 980-986 (2007). [IF: 2.433]
5. A. Ihara A, N. Kishikawa, M. Wada, Y. Ohba, K. Nakashima K, Kuroda N: Determination of aromatic compounds by high-performance liquid chromatography with on-line photoreactor and peroxyoxalate chemiluminescence detection, *Luminescence*, **22**, 567-574 (2007). [IF: 0.880]

B 邦文

(B-b) 総説

1. 岸川直哉, 黒田直敬: 環境試料中の発がん性芳香族化合物の測定法, *生物試料分析*, **30**, 129-133 (2007).

(B-c) 著書

1. 前畑英介, 田口一信, 下村弘治, 加藤 忠, 辻 荘俊, 岸川直哉, 黒田直敬, 福田誠二: 環境倫理視点で捉えた汚染地球: ヒト健康障害も懸念する, *環境と測定技術*, **6**, 33-41 (2007).
2. 前畑英介, 下村弘治, 工藤値英子, 岸川直哉, 黒田直敬: 自己採取試料による検査システムの現状と将来. *ぶんせき*, **10**, 530-536 (2007).

【学会発表】

B 国内学会

(B-b) 一般講演

1. 中島 一, 岸川直哉, 中島憲一郎, 黒田直敬: 発蛍光誘導体化試薬 2-aminothiophenol を用いるキノン化合物のプレ及びポストカラム HPLC 定量法の検討, フィジカルファーマフォーラム 2007, 富山 (2007).
2. 久保公子, 岸川直哉, 中島憲一郎, 黒田直敬: Suzuki coupling 反応を利用する蛍光標識法の開発と医薬品分析への応用, フィジカルファーマフォーラム 2007, 富山 (2007).
3. 中島 一, 岸川直哉, 中島憲一郎, 黒田直敬: 大気粉じん中キノン化合物のポストカラム蛍光誘導体化 HPLC 定量法の検討, 日本薬学会第 127 年会, 富山 (2007).
4. 久保公子, 岸川直哉, 中島憲一郎, 黒田直敬: Suzuki coupling 反応を利用するアリアルライドの発蛍光誘導体化の検討, 日本薬学会第 127 年会, 富山 (2007).
5. 大山 要, 岸川直哉, 中川博雄, 樋口則英, 稲岡奈津子, 藤 秀人, 一川暢宏, 黒田直敬, 佐々木均: キャピラリー電気泳動法を用いる血中ミコフェノール酸及び代謝物の定量に関する基礎的検討, 日本薬学会第 127 年会, 富山 (2007).
6. 岸川直哉, 中島 亘, 中島憲一郎, 黒田直敬: 過酸化水素の添加を必要としない新規過シュウ酸エステル化学発光系の検討 (5): アミノ基用標識試薬 4-(6-ジメチルアミノ-2-ベンゾフラニル)フェニルイソチオシアネートの評価, 第 68 回分析化学討論会, 宇都宮 (2007).
7. 黒田直敬, 藤本恵美子, 大山 要, 岸川直哉, 和田光弘, 中島憲一郎: エフェドリン類縁化合物のキャピラリー電気クロマトグラフィーによる分離についての検討, 日本法中毒学会第 26 年会, 延岡 (2007).
8. 岸川直哉, 松尾 斐, 才木 茜, 中島憲一郎, 黒田直敬: アルブミン結合性新規蛍光試薬を用いるヒト血清中アルブミンの高感度定量法の開発, 第 20 回バイオメディカル分析科学シンポジウム, 八王子 (2007).
9. Amponsaa-Karikari Abena, 岸川直哉, 大庭義史, 中島憲一郎, 黒田直敬: 紫外線照射による活性酸素の発生に基づく有機化合物の HPLC-化学発光検出: ニトロソアミンの定量, 生物発光化学発光研究会第 25 回学術講演会, 札幌 (2007).
10. 久保公子, 岸川直哉, 中島憲一郎, 黒田直敬: Suzuki coupling 反応に基づく蛍光誘導体化を利用するクロルプロパミドの HPLC 定量法, 日本分析化学会第 56 年会, 徳島 (2007).
11. 岸川直哉, 中島憲一郎, 前畑英介, 黒田直敬: 生体試料の活性酸素消去能測定による酸化ストレス疾患評価の試み, 第 47 回日本臨床化学会年会, 大阪 (2007).
12. 松尾 斐, 岸川直哉, 中島憲一郎, 黒田直敬: アルブミン結合性蛍光試薬を用いる酸化型・還元型アルブミン同時測定法の開発, 第 24 回日本薬学会九州支部大会, 福岡 (2007).
13. 中島 一, 岸川直哉, 中島憲一郎, 黒田直敬: 9,10-Phenanthrenequinone のポストカラム蛍光誘導体化 HPLC-定量法とその大気粉じん試料への応用, 第 24 回日本薬学会九州支部大会, 福岡 (2007).

14. 大久保信宏 ,岸川直哉 ,中島憲一郎 ,黒田直敬:ヒト血漿中コエンザイム Q10 の HPLC-ルミノール化学発光定量 , 第 24 回日本薬学会九州支部大会 , 福岡 (2007).

【研究費取得状況】

1. ヒト健康血清アルブミンの選択的検出を可能とする蛍光プローブの臨床化学的応用 , 平成 19 年度大学高度化推進経費 (萌芽研究); 代表

【過去の研究業績総計】

原著論文 (欧文)	27 編	(邦文)	2 編
総説 (欧文)	1 編	(邦文)	1 編
著書 (欧文)	0 編	(邦文)	4 編
紀要 (欧文)	2 編	(邦文)	7 編
特許	0 件		